

# 令和2年度 社会福祉法人まつかぜの会事業報告

## 1. 事業報告にあたって

工賃向上を目指して豆のちから、みらいずは自主生産品作り等の活動をしてまいりましたが、収束が見えないコロナ禍の中で、製造・販売や受注作業も減り、右往左往の状態でも運営してきました。その中でも利用者の仕事はなるべく平常通りにできるように、事業所職員は日課を工夫し、考えて支援にあたりました。

イベント頼みであった今までの販売方法をこれからは切り替えていかなければならず、職員総員で考えていく機会と捉えております。

利用者においては、大きな病気やケガもなく、休むことも少なく毎日元気に通所して下さったことはご家族のご協力のおかげと深く感謝する次第です。

これまでにない事業運営の難しさはありましたが、今後も障害があっても「より自分らしく」また「安心して暮らせる生活」の実現を目指すことを理念とするまつかぜの会は、この思いが揺るぐことなく精進してまいりますので、皆様方にはご支援・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

## 2. 支援の基本姿勢

利用者の特性や状態に応じて、自立支援と日常生活の充実のための支援を行うと共に、生産活動を通じた地域の状況やニーズに応じた社会生活のための支援に取り組みました。

## 3. 基本方針

(1) 利用者が主役であり、一人ひとりの人権を守り、誰もが心身ともに育成されるよう支援します。

利用者の権利と意思決定を尊重し、主体的な生活と自己実現を目指した支援のために、サービス管理責任者が作成した個別支援計画を理解し、職員間での意思疎通、支援内容を共有しました。

(2) 利用者の個性や思い、ライフスタイルに沿った個別支援を念頭に、普通の市民の普通の生活を目指します。

利用者がおかれている環境に基づきアセスメントを行い、作成した個別支援計画のもとニーズに応じた支援を行うため、相談支援事業所との担当者会議を実施し総合的な支援方針確認をしました。

(3) 職員一人ひとりの資質の向上や職員のキャリアアップを図っていきます。

職員の知識・向上に向け外部研修等にも積極的に参加しておりますが、今年度はコロナ禍のため、研修会が極端に減少し研修参加人数が限られてしまった状態でした。

(4) 福祉サービスを通じ、地域との結びつきを大切に、地域に開かれた施設づくりをします。

コロナ禍でもあり販売の自粛等がありましたが、店舗販売や個別注文のお客様対応は感染対策をしっかりと取り組みました。近隣小学校の体験学習の受け入れはできませんでした。

(5) 近隣既存事業所との連携を図り、利用に際しての様々な利便性の向上や事業所の人材育成、スキルアップを図っていきます。

共同受注を実施している社会福祉法人松里福社会運営の2事業所と連携を図り、職員間の情報交換等を行いました。

また就労支援ネットワークに参加し、他の障害者支援事業所との連携を図り、地域における社会資源や支援についての情報交換や連携した活動の実施など、地域におけるネットワークを構築するように努めています。

(6) 透明性を堅持し、健全でかつ活力ある法人経営をします。

事業運営の透明性の確保、閲覧対象書類の整備を行い公表するとともに、ホームページや通信等で各事業所の様子を随時発信してまいりました。

#### 4. 評議員会・理事会・監事会の開催状況

(1) 第1回監事会 令和2年5月31日(日)

監事定数2名 出席監事2名

平成31年度事業報告、計算関係書類及び財産の状況、並びに理事長の業務執行報告について、「監事監査重点項目指針」に従って監査が実施された。

(2) 「理事会に係る提案について」 令和2年6月2日(火)

「理事会決議事項についての同意書」 発送

(3) 第1回理事会(書面決議) 令和2年6月10日(水)

理事定数7名 同意の意思を表明した理事7名 同監事2名

(報告事項)

報告事項第1号 理事長の業務執行報告について

報告事項第2号 監事監査報告について

(審議事項)

議案第1号 施設長任命について

議案第2号 平成31年度第4回補正予算について

議案第3号 平成31年度事業報告

議案第4号 平成31年度計算書類及び財産目録について

議案第5号 定時評議員会の招集について「決議の省略による方法による」

(4) 「評議員会に係る提案について」 令和2年6月10日(水)

「評議員会決議事項についての同意書」 発送

(5) 第1回評議員会(書面決議) 令和2年6月22日(月)

評議員定数8名 同意の意思を表明した評議員8名

(報告事項)

報告事項第1号 平成31年度事業報告について

(審議事項)

議案第1号 平成31年度計算書類及び財産目録について

(6) 「理事会に係る提案について」 令和2年7月30日(木)

「理事会決議事項についての同意書」 発送

(7) 第2回理事会(書面決議) 令和2年8月7日(金)

理事定数7名 同意の意思を表明した理事7名 同監事2名

(審議事項)

議案第1号 施設長の体制変更について

(8) 「理事会に係る提案について」 令和2年11月28日(土)

「理事会決議事項についての同意書」 発送

(9) 第3回理事会(書面決議) 令和2年12月8日(火)

理事定数7名 同意の意思を表明した理事7名 同監事2名

(報告事項)

報告事項第1号 理事長の業務執行報告について

(審議事項)

議案第1号 令和2年度第一次補正予算について

(10) 第4回理事会 令和3年3月12日(金)

理事定数7名 出席理事5名 監事2名

(報告事項)

報告事項第1号 理事長の業務執行報告について

(審議事項)

議案第1号 令和2年度第二次補正予算について

議案第2号 諸規定の改定について

議案第3号 令和3年度事業計画について

議案第4号 令和3年度予算について

議案第5号 施設長の体制変更について

## 5. 生活支援

各事業所の生活支援は、生活介護、就B、またGHにおいて多種多様にわたります。

利用者本人の困りごとの相談や仕事の指導・支援、日常生活を安全・安心して過ごせるように、職員・世話人・夜勤者それぞれの関りごとを分担して取り組み、職員会議や各事業所のミーティングに諮り共有してまいりました。

## 6. 防災計画

施設内において、自力避難の困難な利用者の緊急避難に重点をおいた、より実践的、効果的な訓練を実施することを目的としております。

(1) 実施方法は、別に消防計画書として、これを定めております。

(2) 内容

①総合訓練(消火・通報・避難誘導を連携して行う) 年1回

コロナ禍のため、消防署に相談のうえ実施せず。

②部分訓練(消火・通報・避難誘導を個別に行う) 年1回

豆のちから(就B) (12月26日(土)) 火災想定

みらいず(多機能) (11月5日(木)) 火災想定

ぱれっと(就B) (11月13日(金)) 火災想定

ルピナス(GH) (11月2日(月)) 火災想定

## 7. サービス管理責任者の責務

- ①利用者・家族と面談等をして、個々のニーズに応じた個別支援計画を作成し、利用者・家族に同意を得ました。
- ②特別支援学校等からの利用申込者と面接し、生活や課題等のアセスメントを行いました。
- ③個別支援計画の実施状況のモニタリングや計画の変更を行い、記録いたしました。
- ④支援に係る他の職員への技術支援と助言を行いました。

## 8. 職員研修

月日（曜日）	テーマ・内容	主催	参加者
8/19（水）	サービス管理責任者基礎研修	千葉県障害福祉課	中澤
8/21（金）	サービス管理責任者基礎研修	千葉県障害福祉課	中澤
8/26（水）	サービス管理責任者基礎研修	千葉県障害福祉課	中澤
9/15（火）	衛生管理集中研修	千葉県障害者就労振興センター	浦野
9/24（木）	ソーシャルリーダーシップ&工賃向上スキルアップ研修	K-NET！（オンライン）	浦野
10/16（金）	衛生管理集中研修	千葉県障害者就労振興センター	浦野
10/22（木）	ソーシャルリーダーシップ&工賃向上スキルアップ研修	K-NET！（オンライン）	浦野
11/10（火）	意見交換会	K-NET！（オンライン）	柳町
11/12（木）	衛生管理集中研修	千葉県障害者就労振興センター	浦野
12/22（火）	ソーシャルリーダーシップ&工賃向上スキルアップ研修	K-NET！（オンライン）	浦野
3/18（木）	ソーシャルリーダーシップ&工賃向上スキルアップ研修	K-NET！（オンライン）	浦野

※コロナ禍のため、例年のような研修会は少なく、また研修会自体がキャンセルになることが多々ありました。

## 9. 職員会議等

月日（曜日）	内容	人数	摘要
4/7（火）	臨時職員会議	8	新型コロナ緊急事態宣言後の対応について他
4/13（月）	定例職員会議	10	新型コロナウイルス感染防止対策について他
5/11（月）	定例職員会議	10	感染防止対策による在宅支援について他
5/22（金）	GH職員会議	6	運営上の課題について他
6/8（月）	定例職員会議	12	各事業所運営状況他
6/24（水）	豆のちからケース会議	7	利用者5名分評価と課題
7/13（月）	定例職員会議	11	新型コロナ対策他

7/29 (水)	豆のちからケース会議	5	利用者5名分評価と課題
7/30 (木)	ばれっとケース会議	4	個別の利用者支援検討他
8/ 3 (月)	定例職員会議	11	新型コロナ対策、夏季休暇中の連絡体制他
8/26 (水)	豆のちからケース会議	5	利用者5名分評価と課題
8/28 (金)	ばれっとケース会議	4	個別の利用者支援検討他
9/14 (月)	定例職員会議	9	各事業所報告他
10/ 5 (月)	みらいずケース会議	3	個別の利用者支援検討他
10/ 7 (水)	ばれっとケース会議	4	個別の利用者支援検討他
10/12 (月)	定例職員会議	10	下半期の予定、各事業所報告他
10/28 (水)	豆のちからケース会議	4	個別の利用者支援検討他
11/ 2 (月)	みらいずケース会議	3	個別の利用者支援検討他
11/ 9 (月)	定例職員会議	10	各事業所報告、工賃基準検討他
11/ 4 (水)	ばれっとケース会議	4	個別の利用者支援検討他
11/25 (水)	豆のちからケース会議	4	個別の利用者支援検討他
12/ 9 (水)	ばれっとケース会議	4	個別の利用者支援検討他
12/14 (月)	定例職員会議	7	各事業所報告他
1/ 4 (月)	みらいずケース会議	3	個別の利用者支援検討他
1/ 6 (水)	ばれっとケース会議	4	個別の利用者支援検討他
1/11 (月)	定例職員会議	8	各事業所報告、緊急事態宣言時の対応他
1/27 (水)	豆のちからケース会議	4	個別の利用者支援検討他
2/ 1 (月)	みらいずケース会議	3	個別の利用者支援検討他
2/ 3 (水)	ばれっとケース会議	4	個別の利用者支援検討他
2/ 8 (月)	定例職員会議	9	各事業所報告、就労事業の収益報告他
2/24 (水)	豆のちからケース会議	4	個別の利用者支援検討他
3/ 3 (水)	みらいずケース会議	3	個別の利用者支援検討他
3/ 8 (月)	定例職員会議	9	各事業所報告、次年度計画について他
3/10 (水)	ばれっとケース会議	4	個別の利用者支援検討他
3/31 (水)	豆のちからケース会議	4	個別の利用者支援検討他

## 10. 苦情解決等

令和2年度において、本法人及び事業所に対する利用者及び保護者等からの苦情はありませんでした。

## 11. 虐待防止等の取り組み

令和2年度において、ヒヤリハット報告が1件ありました。

(概要) 令和3年2月3日、豆のちからの女性利用者が、終礼後3階から降りる際に階段を数段踏み外しました。

今後の対策として、終礼後階段に人が集中しないよう全体に向けてゆっくり階段を降りるよう声掛け

をする、足元の危ない利用者にはエレベーターを使用してもらう、サイズの合った靴を履いてもらう等の対応をいたしました。

### 1 2. 家族及び家族会との連携

- ①新利用者の契約にあたり、重要事項説明や個別支援計画、また事業所の活動内容などについて本人及び家族に対し十分な説明をいたしました。
- ②今年度は、家族会は開催できませんでした。利用者の様子や事業所の取り組み等、豆通信や時々の文書でお知らせいたしました。
- ③例年、イベント販売等に参加・協力をいただいていた連携を深めておりましたが、2年続きのコロナ禍でほとんど中止となりました。

### 1 3. 関係団体等との連携

- ①特別支援学校や関係機関等との情報交換を行い、在宅者や特別支援学校生等に体験実習の機会を提供し、進路選択の情報提供を行いました。
- ②他法人と連携し、2件の共同受注を受託しております。利用者の作業等や職員間の情報交換をすることでより良い支援になるよう努めました。
- ③令和2年度千葉県農福連携推進事業「お試しノウフク」に申し込み、五香観光梨組合石川農園で枝拾い作業を3日間いたしました。

### 1 4. 実習・見学者

豆のちから

月日（曜日）	内 容	摘 要
5/28（木）	㈱リブ・ウィング 4名様 見学	
7/20（月）	倉迫様 見学	中学2年生
8/ 5（水）	海東様 見学	
8/17（月）	佐藤様 見学	高等部2年生
8/19（水）	石崎様 見学	高等部2年生
9/ 4（金）	花山様 見学	高等部2年生
9/28（月）	若松様 見学	高等部2年生
10/ 5（月）	矢切特別支援学校高等部3年生 実習	10/15まで
10/19（月）	矢切特別支援学校高等部3年生 実習	10/30まで
11/ 9（月）	つくし特別支援学校高等部2年生 実習	11/13まで
12/ 7（月）	つくし特別支援学校高等部2年生 実習	12/11まで
1/12（火）	つくし特別支援学校高等部3年生 実習	1/25まで
2/12（金）	増山様 見学	

みらいず・ぱれっと

月日（曜日）	内 容	摘 要
4/ 9（木）	つくし特別支援学校高等部3年 見学（みらいず）	
5/28（木）	㈱リブ・ウィング 4名様 見学（みらいず）	
6/11（木）	つくし特別支援学校高等部3年 見学（みらいず）	
6/15（月）	矢切特別支援学校 実習（みらいず）	6/26まで
7/18（土）	つくし特別支援学校高等部3年 見学（みらいず）	
8/20（木）	矢切特別支援学校高等部2年 見学（みらいず）	
8/21（金）	つくし特別支援学校高等部2年 見学（みらいず）	
10/12（月）	矢切特別支援学校高等部3年 見学（みらいず）	
10/19（月）	特別支援学校流山高等学園3年 実習（みらいず）	10/21まで
11/10（火）	矢切特別支援学校高等部2年 実習（みらいず）	11/12まで
11/16（月）	矢切特別支援学校高等部3年 実習（ぱれっと）	11/30まで
11/17（火）	矢切特別支援学校高等部2年 実習（みらいず）	11/19まで
11/24（火）	つくし特別支援学校高等部2年 実習（みらいず）	11/26まで
12/15（火）	矢切特別支援学校高等部2年 実習（みらいず）	12/17まで
3/ 4（木）	矢切特別支援学校高等部2年 実習（みらいず）	3/ 5まで

15. イベント・販売会

月日（曜日）	内 容	摘 要
6/24（水）	市役所通路販売	松戸市福祉施設共同販売推進協議会
7/29（水）	市役所通路販売	松戸市福祉施設共同販売推進協議会
7/31（金）	市役所通路販売	松戸市福祉施設共同販売推進協議会
9/16（水）	市役所通路販売	松戸市福祉施設共同販売推進協議会
10/20（火）	市役所通路販売	松戸市福祉施設共同販売推進協議会
10/21（水）	市役所通路販売	松戸市福祉施設共同販売推進協議会
11/ 1（日）	食べ物フェア	稲毛区役所前広場
12/ 6（日）	みらいず年末大感謝祭	みらいず駐車場
12/15（火）	市役所通路販売	松戸市福祉施設共同販売推進協議会
12/16（水）	市役所通路販売	松戸市福祉施設共同販売推進協議会

## 豆のちから（就労継続支援B型）

### 1. 利用者の状況（令和3年3月31日現在）

男性	10名
女性	5名
合計	15名（定員20名）

#### （1）年齢別の状況

	20未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60以上	計	平均年齢
男性		5	3	1	1		10	31.1
女性		2	1	1	1		5	34.2
計		7	4	2	2		15	32.1

#### （2）月別利用実績

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延人数	293	251	328	330	253	289	342	319	335	324	287	321	3672
開所日	20	17	22	23	18	20	23	22	23	22	20	23	253
1日当り	14.7	14.8	14.9	14.3	14.1	14.5	14.9	14.5	14.65	14.7	14.4	14.0	14.5
利用率%	97.7	98.4	99.4	95.7	93.7	96.3	99.1	96.7	97.1	98.2	95.7	93.0	96.8

#### （3）工賃実績

	令和元年度実績	令和2年度実績
利用者数	16名	15名
平均工賃 （一人当たり）	21,610円	17,813円

※令和2年度工賃については「工賃変動積立金」50万円を取り崩し充当いたしました。

### 2. 事業報告

2年にわたる収束の見えない新型コロナウイルス感染症の影響で、イベント販売の売り上げが今年度はほとんどない状態でした。それでも定期的にご購入下さるお客様があり、これまでの利用者の活動が功をなしているのかと感謝する次第です。

社会全体の動きが思うようにならないために受注の仕事も激減しました。工賃向上に向けた取り組み方を考え直す機会と捉えて、次年度も新しいことに挑戦し続けてまいります。

#### （1）豆腐・菓子製造販売

コロナ禍でイベント等が中止になったため、豆腐の製造は減少しました。市役所通路販売も減り、ご好評いただいている「おからドーナツ」も通常の半分しか作れない状態でした。



その中で利用者と共に作れるお菓子作りを取り入れてみました。週1回「おから入りパウンドケーキ」（5種類）作りに取り組みました。お客様にも好評で、冷凍保存も可能で作り置きできるので、利用者が交代で関わりながら製造しております。

## (2) 受注作業

毎週（水）に地域新聞の折り込み作業を行いました。その他は突発的な受注を請け負ったりしましたが、以前より受注量が減少したこともあり、製造や販売の合間にできる作業を探す必要があると考えております。

## (3) 施設外就労 4ヶ所

### ①東松戸病院

松戸市共同受注事業として、(社福)松里福祉会こころぼまつさととローテーションで病院内の売店業務と洗濯業務を請け負っております。売店では市内福祉事業所の自主生産品の展示・販売ブースを設けてあり、豆のちからでは豆腐・豆乳プリン・おからドーナツ・手芸品等を販売しました。

コロナ禍のため、利用者は4月下旬より売店業務には入らず、洗濯業務のみの作業となりました。

また、利用者は公共交通機関を使い病院に通っていましたが、事業所で送迎をしております。

\*豆のちから担当日： 売店 第2・第4（土） 職員のみ  
洗濯 （火）（木） 利用者3名 職員1名

### ②(株)太田製作所（工場内作業） 平日毎日

工場内でウレタンテープ貼り等の軽作業

利用者4名・職員1名の作業体制

### ③(株)太田製作所（清掃作業）

本社ビルと工場食堂の清掃等 平日毎日

利用者2名・職員1名の作業体制

みらいずとローテーションを組みながら作業を行いました。

### ④(株)的場製館所

工場内で番重洗い等 毎週（火）（金）

利用者2名・職員1名の作業体制

みらいずとローテーションを組みながら作業を行いました。

## みらいず（多機能型事業）

**就労継続支援B型** みらいず・ぱれっと（従たる事業所）

### 1. 利用者の状況（令和3年3月31日現在）

みらいず	男性	3名	女性	3名	計	6名	(定員12名)
ぱれっと	男性	6名	女性	5名	計	11名	(定員12名)
	計	9名		8名	合計	17名	(定員24名)

#### (1) 年齢別の状況

	20未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60以上	計	平均年齢
男性	1	2	3		2	1	9	36.3
女性	1	1	4	2			8	35.0
計	2	3	7	2	2	1	17	35.7

#### (2) 月別利用実績

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延人数	294	276	354	368	288	314	354	338	347	351	320	379	3983
開所日	20	17	22	23	18	20	23	22	23	22	20	23	253
1日当り	14.7	16.2	16.1	16.0	16.0	15.7	15.4	15.4	15.1	16.0	16.0	16.5	15.8
利用率%	86.5	95.5	94.7	94.1	94.1	92.3	90.5	90.4	88.8	93.9	94.1	96.9	92.7

#### (3) 工賃実績

	令和元年度実績	令和2年度実績
利用者数	15名	17名
平均工賃 (一人当たり)	17,554円	11,889円

## 2. 事業報告

### (1) 粗大ゴミ等リユース事業（リユース家具等の清掃・販売）

松戸市の協力を得て、(社福)松里福祉会ワーク・ライフまつさと共同受注として粗大ゴミ等リユース事業を行ないました。和名ヶ谷クリーンセンター等から月1度のサイクルで回収する粗大ゴミを清掃・補修してリユース品として販売しました。しかし、4月7日に新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言が発令され5月25日に解除されるまで事業は一時休業となり、その後も8月末まで回収は出来なかった為開店休業状態が続きました。9月初めに回収が始まり店舗再開すると少しずつ来店客が見えるようになりました。

リユース事業においては、利用者の作業は少なくなりましたが、毎朝の家具の埃を払うことなどは日課としておりました。

## (2) 受注作業

- |                   |               |
|-------------------|---------------|
| ・(株)パソコンファーム      | PCモデム等の解体     |
| ・(株)太田製作所         | 部品や取説等の袋入れなど  |
| ・(株)大成美術プリンティング   | メモ帳のOPP袋入れなど  |
| ・マルヒロ(株)          | 金具部分の仮組など     |
| ・(有)ユハライインターナショナル | ポストカードなど      |
| ・ミラクルパワーズ         | シール貼りするなど     |
| ・(株)アークフォワード      | ちいき新聞折り込み作業など |
| ・その他の企業           |               |

密にならないようになど作業環境を整え、個々の支援を工夫することにより、一人ひとりが役割を自覚し自主的に作業の取組ができました。本人のできない事に着目するのではなく、できる事や得意なことを増やしたり伸ばしながら本人の自信につながる働きかけを意識し取り組んできました。

## (3) 施設外就労 3ヶ所

### ①(株)太田製作所（工場内作業） 平日毎日

工場内でウレタンテープ貼り等の軽作業

利用者4名・職員1名の作業体制

これから新規に仕事を覚えてもらうために今まで入っていない利用者に施設外作業の体験を試みています。

### ②(株)太田製作所（清掃作業）

本社ビルと工場食堂の清掃等 平日毎日

利用者2名・職員1名の作業体制

豆のちからとローテーションを組みながら作業を行いました。

### ③(株)的場製館所

工場内で番重洗い等 毎週（火）（金）

利用者2名・職員1名の作業体制

豆のちからとローテーションを組みながら作業を行いました。

## 生活介護 みらいず

### 1. 利用者の状況（令和3年3月31日現在）

男性 3名

女性 2名

合計 5名（定員8名）

### (1) 年齢別の状況

	20未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60以上	計	平均年齢
男性		2		1			3	29.3
女性			1		1		2	41.0
計		2	1	1	1		5	34.0

### (2) 月別利用実績

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延人数	81	84	106	105	84	93	110	97	105	106	95	107	1173
開所日	20	17	22	23	18	20	23	22	23	22	20	23	253
1日当り	4.1	4.9	4.8	4.6	4.7	4.7	4.8	4.4	4.6	4.8	4.8	4.7	4.6
利用率%	81.0	98.8	96.4	91.3	93.3	93.0	95.7	88.2	91.3	96.4	95.0	93.0	92.8

### (3) 工賃実績

	令和元年度実績	令和2年度実績
利用者数	5名	5名
平均工賃 (一人当たり)	8,944円	7,093円

## 2. 事業報告

生活介護事業については、働くことと余暇活動をベースに取り入れておりました。作業ではパソコン解体を常にできる状態であり、就Bの利用者と共に取り組んでいました。

余暇活動等として、今年度はコロナ禍のため毎月楽しみにしていた外食はやめ昼食づくりをしました。また、ドライブを兼ね、流山の畑で野菜の収穫もしましたが、季節や自然に触れ合う中で適度に身体を使う楽しみのある取組となりました。ストレッチ体操とたんぼぼのお話会はコロナが収束するまで中止としました。

## 共同生活援助花音（グループホームルピナス 1・2）

### 1. 事業報告

障害があっても地域で自立した生活ができる事、養護者の高齢化等により自宅での生活が困難になっても困ることがないように、という思いでグループホームを起ち上げて1年経ちました。まさに新型コロナウイルス感染症の蔓延する最中の開設で、入居には際してはご家族の方々も不安を抱えながら送り出してくださいましたことでしょう。

開設当初から6名の入居者がありました。当然ながら初めて経験する方ばかりでしたが、利用者の皆さんは動揺する様子もなく、新しい生活を楽しんでいるようでした。

初めてのグループホーム運営にあたり、運営側としては戸惑うことも多々ありましたが、世話人・夜勤者、また事業所職員がヘルプに入り、協力しながら取り組むことが出来ました。

一年経った今、入居者それぞれの生活スタイルが把握できるようになりましたが、更に個々の思いを尊重し、それぞれの意思に基づいた生活の実現を目指すと共に、安心・安全でかつ快適な場所となるよう引き続き努めてまいります。

### 2. 利用者状況

#### 障害支援区分

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
ルピナス1				1	1		2
ルピナス2			2	2			4
合計			2	3	1		6

### 3. 生活支援

- ①就寝・起床・食事・入浴などの生活リズムを整えられるように声掛け支援しました。
- ②公共交通機関を使って通所する利用者には、適宜な時間等共に確認し見守り支援しました。
- ③できる限り、自己決定に基づいた生活が送れるよう支援しました。
- ④主体的に生活できるよう見守り支援しました。
- ⑤季節の行事や誕生会などのお楽しみ会を行いました。
- ⑥困りごとの相談や、できない事を把握し教えたり声掛けなどの支援をしました。
- ⑦夜間の見守り支援を行いました。
- ⑧利用者のプライバシーには十分配慮し、一人ひとりに合わせた支援に努めました。

### 4. 防災計画

GH内において、自力避難の困難な利用者の緊急避難に重点をおいた、より実践的、効果的な訓練を実施することを目的としております。

- (1) 実施方法は、別に消防計画書として、これを定めております。

## (2) 内容

- ①総合訓練（消火・通報・避難誘導を連携して行う） 年1回  
コロナ禍のため、消防署に相談のうえ実施せず。
- ②部分訓練（消火・通報・避難誘導を個別に行う） 年1回  
11月2日（月）火災想定

## 5. サービス管理責任者の責務

- ①利用者・家族と面談等をして、個々のニーズに応じた個別支援計画を作成し、利用者・家族に同意を得ました。
- ②3ヶ月ごとに個別支援計画の実施状況のモニタリングや計画の変更を行い、記録いたしました。
- ③利用者の心身の状況と、安心・安全に日常生活を営むことが出来るよう検討し、支援会議を開催しました。
- ④支援に係る他の世話人等への技術支援と助言を行いました。

## 6. 苦情解決等

令和2年度においては、グループホームルピナスに対する利用者及び保護者等からの苦情はありませんでした。

## 7. 家族との関係

- ①共同生活援助花音との契約にあたり、重要事項説明、個別支援計画や支援内容について、本人及び家族に対し十分な説明をいたしました。
- ②支援場面において、他の利用者との関係性に配慮しながら、できるだけ家庭でのライフスタイルを尊重するように努めました。

## 共同生活援助花音 短期入所

令和2年度においては、コロナ禍のため、短期入所は行いませんでした。